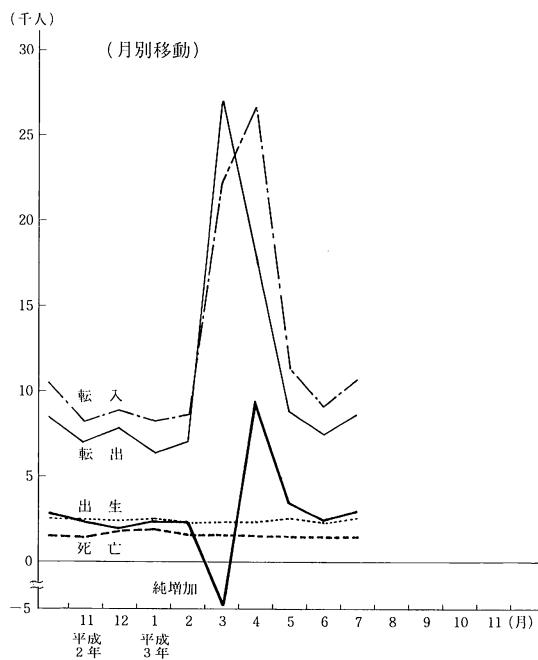


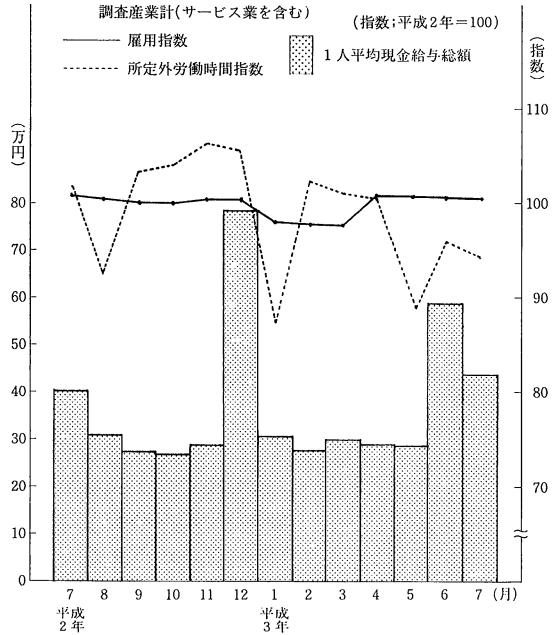
●今月の主な動き

今月の主な動き

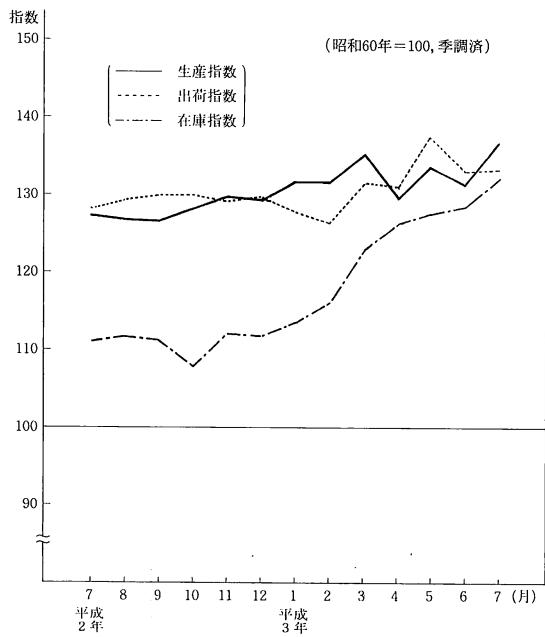
人 口



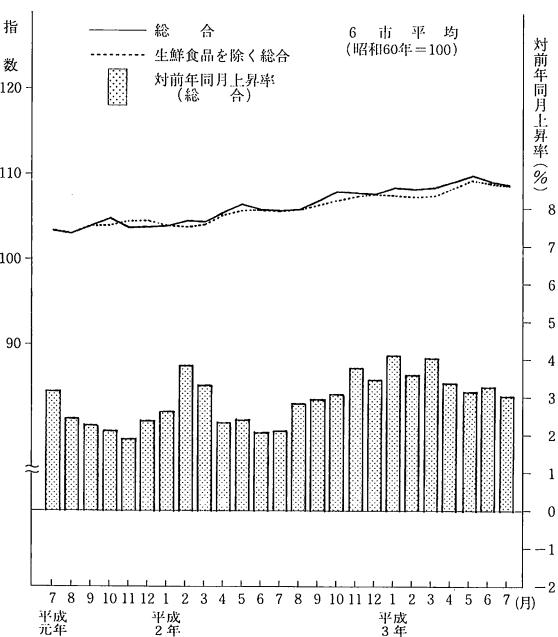
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



***** 今月の主な動き ●

主な動きのあらまし 企画部統計課

■ 人口(8月1日)

本県の人口は、7月中に3,027人増加し、8月1日現在で2,870,794人(男1,432,980人、女1,437,814人)となった。

内訳は、自然動態で1,110人(出生2,607人、死亡1,497人)増加し、社会動態で1,917人(転入10,801人、転出8,884人)増加した。

■ 賃金・労働時間・雇用(7月)

1. 平均賃金の推移

7月の現金給与総額は、調査産業計で431,161円、対前年同月比6.7%増、このうちきまって支給する給与は281,726円、対前年同月比4.3%増であった。また、このうち所定内給与は251,043円、対前年同月比5.1%増であり、超過労働給与は30,683円、対前年同月比2.5%減であった。

なお、物価上昇を差し引いた実質賃金は、対前年同月比3.3%増であった。

* この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫)(7月分)

本県における平成3年7月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が136.6、出荷が133.8、在庫が132.8で、前月比は、生産が4.1%の上昇、出荷が0.5%の上昇、在庫が3.5%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が7.4%の上昇、出荷が4.5%の上昇、在庫が19.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、食料品・たばこ工業、輸送機械工業、鉱業等が上昇し、石油・石炭製品工業、鉄鋼業、電気機械工業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、化学工業、鉱業等が上昇し、石油・石炭製品工

市町村別では、増加が18市49町村、減少が2市18町村、増減なしのが1町である。

世帯数についても7月中に1,618世帯増加し852,520世帯となった。

2. 労働時間

7月の総実労働時間は、調査産業計で177.5時間、対前年同月比2.0%減であった。このうち所定内労働時間は159.2時間、対前年同月比1.4%減、所定外労働時間は、18.3時間、対前年同月比7.0%減であった。

3. 雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.3%減であった。

業、一般機械工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、精密機械工業等が上昇し、金属製品工業、鉄鋼業、食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。出荷では、鉱工業用生産財、非耐久消費財等が上昇し、耐久消費財、その他用生産財等が低下した。在庫では、全てについて上昇した。

■ 消費者物価指数(7月)

平成3年7月の茨城県消費者物価指数(6市平均)は、総合で109.0となり、前月比0.3%の下落、前年同月比3.1%の上昇となった。

今月上がった主な項目……設備修繕・維持1.1%

今月下旬がった主な項目……果物△7.8%、衣料△4.4%，

乳卵類△2.8%、シャツ・下着△1.8%、生地・他の

被服類△1.6%

生鮮食品を除く総合は108.9となり、前月比0.1%の下落、

前年同月比3.1%の上昇となった。

費目別指数 (昭和60年=100)

区分	指數	上昇率(%)		区分	指數	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	109.0	△0.3	3.1	保健医療	106.1	△0.1	0.1
食料	108.7	△0.4	4.4	交通通信	104.0	0.5	1.2
住居	122.2	0.7	4.6	教育	125.5	0.0	0.8
光熱・水道	92.4	△0.1	2.8	教養娯楽	113.3	0.0	4.0
家具・家用品	102.3	0.3	2.2	諸雑費	107.4	0.0	1.1
被服及び履物	113.2	△2.7	3.3	生鮮食品除外総合	108.9	△0.1	3.0